

(別紙様式3)

令和6年度あいちラーニング推進事業研究報告書【重点校】

学校番号 26
学校名 愛知県立 瀬戸工科 高等学校
校長氏名 村松 正敏

研究責任者職・氏名	教頭・渡部 一喜	
研究テーマ	「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善	
本年度の研究目標	(1) あいちラーニング推進委員で実践の成果や問題点などの情報を共有し、各教科・学科へフィードバックを行い、定期的に情報をアップデートし続ける。 (2) 推進委員を中心に教科や学科を超えた授業参観等を積極的に行い、自身の教科や学科へ還元をしていく。	
研究の実施内容		
実施月日	内 容	備 考 (対象生徒等)
5月30日	第1回あいちラーニング推進委員会	推進委員
6月3～7日	校内公開授業週間	全職員
6月19日	第2回あいちラーニング推進委員会	推進委員
6月21日	第1回尾東地区連絡協議会(旭野高校)	教務主任
8月28日	第3回あいちラーニング推進委員会	推進委員
10月2日	第4回あいちラーニング推進委員会	推進委員
11月1日	尾東地区への公開授業及び研究協議会	担当教員
11月29日	第2回尾東地区連絡協議会(オンライン会議)	教務主任
2月19日	第5回あいちラーニング推進委員会	推進委員
研究成果の評価及び普及・還元に関する実績		
<p>各学科の代表が集まり、その時点での課題について意見交換を行うことで、問題解決への糸口が見えることもあり、そういったことの積み重ねから少しずつ「主体的・対話的で深い学び」へつながる授業のあり方やICTの効果的な活用について理解が深まったと感じている。</p> <p>ICTの活用のためにWindowsキーボード入力でのショートカットキー一覧が欲しいとの要望があったため、推進委員の協力のもとで教室用の掲示物を作成し、掲示することができた。</p> <p>尾東地区への公開授業では、対象の授業に対してのさまざまな意見を外部の方から伺うことができ、授業担当者には多くの学びがあったと同時に、その学びがまた本校の授業全体へと少しずつ広がっていくと感じている。</p> <p>2年間の推進会議の中では、教員同士が主体的・対話的に考えていくことを実践することができた。今後はこれらの教員からさらに授業での実践へとつながっていくことで、少しずつ本校の授業が改善されていくことを期待している。</p>		